

外来生物の問題は みんなに関係する 問題です!

相手は生き物です! かわいいだけでは飼えません!

1 ペットを飼う時は、その生き物のことをよく調べましょう!

●寿命を知っていますか?

寿命が尽きるまで飼い続けることができますか。カミツキガメは80年生きるとも言われています。

●成長したときの大きさを知っていますか?

ミシシippアカミミガメ(通称ミドリガメ)は成長すると全長30cmに達するものがあります。住宅事情などをよく考えましょう。

●生態をよく知っていますか?

発情期は気が荒くなるなど、取扱いが困難になる生き物ではありませんか。

2 ペットは逃げ出さないよう管理し、最後まで責任をもって飼育しましょう。

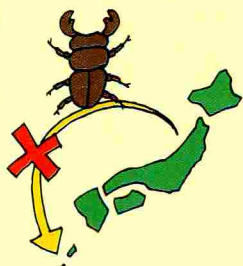
●万一飼育できなくなった場合はどうしますか?

飼いきれなくなったときは、野外に放さず、責任を持って処分又は引取先を探してください。

3 野生生物をむやみに移動させないようにしましょう。

●国内で他の地域に生物を移動させた場合も外来生物となります。

本州の昆虫を沖縄などの島へ移動させ、野外に放すことは、地域の生態系を攪乱することに繋がります。



外来生物法が 施行されました。

(平成17年6月1日施行)

- 特定の外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止することを目的とした法律です。
- 生態系などに被害を及ぼすものを特定外来生物として特定し、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などが原則として禁止されています。

主な特定外来生物

哺乳類	爬虫類	魚類
アライグマ ヌートリア	カミツキガメ グリーンアノール	オオクチバス
		
		ブルーギル
植物	両生類	鳥類
ボタンウキクサ ミズヒマワリ	オオヒキガエル	
		ガビチョウ ソウシチョウ

もっと詳しく外来生物法についてお知りになりたい方は環境省ホームページを御覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

写真提供: (財)自然環境研究センター

発行

福島県生活環境部自然保護グループ

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
電話 024-521-7210 FAX 024-521-7928
<http://www.pref.fukushima.jp/shizen/>
平成18年3月発行

©福島県

外来生物の 問題を 知っていますか?



福島県

身近な外来生物

もともとその地域にいなかったのに、人間活動によって他の地域から持ち込まれた生物のことを外来生物といいます。

実は、日本には昔からたくさんの方外来生物が持ち込まれています。イネや家畜のように今ではなくてはならないものや、ヒガンバナのように季節の風物詩として大変身近になっているものもあります。



ナズナはムギの種子とともに日本へ持ち込まれたと言われています。



ヒガンバナは中国原産と言われています。

外来生物の問題とは？

このように私たちの身近な自然は、緩やかに外来生物の影響を受けながらも、安定して推移してきたものと考えられています。

しかし、近年、人や物の移動が活発になるにつれて、非常に多くの外来生物が急激に持ち込まれている状況にあります。

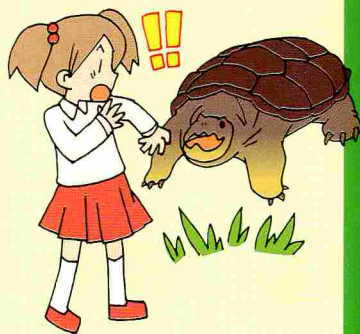
このような外来生物の中には、

- ① 在来生物を食べてしまったり、近縁の在来生物との雑種が生まれてしまうなどの生態系への影響
- ② 農作物を食害するなどの農水産業への影響
- ③ 毒をもち人を咬んだり刺したりする、人の生命・身体への影響

などを引き起こすものがあり、このような問題が起きればその対策には多大な時間と労力が必要となります。

島国で限られた生物が固有の生態系を維持してきた日本では、外来生物の影響を特に受けやすいと言われています。

今、自然で起きていることを知り、これからの野生生物とのかわり方をよく考える必要があります。



今、自然で起きていること - 外来生物が引き起こす影響 -



アライグマ - 野外に放されてしまったペット -

●導入経路

・北米原産の動物で、テレビアニメにより人気が出て、ペットとして大量に輸入されました。繁殖期には気が荒くなることから、多くの個体が手に余され野外に放されました。

●影響

・雑食性で北海道では農作物への被害が出ています。
 ・屋根裏に入り込み糞尿の被害が出ています。
 ・神奈川県では希少なサンショウウオを捕食するなど生態系への被害がでています。
 ・アライグマ回虫症などの人畜共通感染症の発生が心配されます。



アメリカミンク - 泳ぎが得意・魚が大好物 -

●導入経路

・北米原産の動物で毛皮の養殖を目的として日本に導入されました。養殖場から逃げた個体が野生化したと考えられています。

●影響

・北海道、長野県では、内水面漁業への被害が出ています。
 ・イタチなどの在来種と競合することが考えられます。

外来カブトムシ・クワガタムシ

- ブームに乗って大量輸入 -

●導入経路

・ペットとして大量に輸入されています。

●影響

・在来のクワガタムシとの交雑が心配されています。
 ・外来のクワガタムシに寄生しているダニによる在来のクワガタムシなどへの影響が心配されています。



ネブチューンオオカブト

カミツキガメ

- 長生きで繁殖力旺盛 -

●導入経路

・ペットとして輸入されましたが、成長するにつれて攻撃的になるため、多くの個体が野外に放されました。

●影響

・肉食傾向が強く、在来の淡水生物への影響が心配されます。
 ・アゴの力が強く、噛みつかれると大けがをすることがあります。



オオハンゴンソウ

- 湿原にも侵入 -

●導入経路

・北米原産で観賞用に導入されました。

●影響

・国立公園など自然性の高い環境への侵入が見られ、希少種を駆逐するおそれがあります。

